



石川県成長戦略

幸福度日本一の石川県を目指して

2023-2032

Ishikawa Prefecture Growth Strategy

Aiming for Ishikawa Prefecture to be the Happiest Prefecture in Japan



石川県成長戦略

はじめに



石川県では、平成 28 年 3 月に策定した石川県長期構想に基づき、県政の推進にあたってまいりました。

しかしながら、近年、新型コロナウイルス感染症の影響や激甚化・頻発化する自然災害などに加え、社会のデジタル化やカーボンニュートラルの推進といった新たな時代の潮流が生まれるなど、長期構想の策定当時とは社会経済情勢は大きく変化しており、これらに的確に対応しながら、新たな活力を創出し、石川県をさらに飛躍させていくことが必要となってきました。

こうしたことから、県議会におけるご議論、県民意識調査やパブリックコメントによる県民からのご意見、各界の代表者等からなる石川県成長戦略会議及び 5 つの部会におけるご議論などを踏まえ、石川の個性・魅力・基盤を継承し、さらに発展させるべく、石川県の進むべき方向性を示す新たな羅針盤として、「石川県成長戦略」を策定いたしました。

石川県成長戦略では、「幸福度日本一に向けた石川の未来の創造」を基本目標として、「住みやすい石川県」、「働きやすい石川県」、「活力あふれる石川県」の 3 つを目指す姿として掲げ、「石川の新たな価値の創造」と「県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築」の 2 つの視点に基づき、6 つの戦略と 2 つの横断的戦略、各戦略に連なる 38 の施策を取りまとめました。

石川県成長戦略の実行にあたっては、オール石川の体制で、成長戦略に掲げた施策を着実に前進させていく所存であり、戦略ごとに 14 の「主要目標」を、施策ごとに 160 の「KPI」を設定し、進捗状況を管理・評価していくことで、成長戦略をより実効性のあるものとしてまいります。

そして、全ての県民が、夢と希望を胸に、未来に向かってチャレンジでき、誰一人取り残されることなく、一人一人が真の幸せを実感しながら、健やかに安心して暮らすことのできる「幸福度日本一の石川県」の実現に向け、積極果敢に取り組んでまいります。

おわりに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提案を賜りました県民の皆様並びに関係各位に、心から感謝申し上げます。

令和 5 年 9 月

石川県知事 馳 浩

目次

第1章 基本的な考え方	1
1 策定の趣旨	
2 戦略の位置づけ	
3 計画の期間	
第2章 石川県の目指す姿	2
1 基本目標	
2 3つの目指す姿	
第3章 目指す姿を実現するための視点と戦略	6
1 2つの視点	
2 2つの視点に基づく戦略の体系	
第4章 戦略を実行するための前提・仕組み	9
1 主要目標及び K P I による進捗管理・評価	
2 オール石川での推進体制	
3 地域ごとの魅力の発信と地域間連携の促進	
4 効率的・効果的な行財政運営	
第5章 戦略と施策	12
1 新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり	12
2 収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり	28
3 個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり	50
4 石川の未来を切り拓く人づくり	84
5 温もりのある社会づくり	100
6 安全・安心かつ持続可能な地域づくり	124
横断的戦略1 デジタル活用の推進	152
横断的戦略2 カーボンニュートラルの推進	166
主要目標と K P I	176
まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組方針との関係	192
SDGs の共通の目標との関係	193
索引	195
用語解説	201
石川県成長戦略会議・部会委員名簿	206
策定の経緯	210

第1章 基本的な考え方

1 策定の趣旨

石川県では、平成28年3月に「石川県長期構想」を策定し、「個性、交流、安心のふるさとづくり」を基本目標に、石川県が有する質の高い文化の土壌、高い技術を有するものづくり企業や高等教育機関の集積、豊かな自然環境などの強みを伸ばしながら、人口減少や少子高齢化などの課題克服に向けた取組を着実に進めてきました。

しかしながら、昨今の石川県を取り巻く社会経済情勢は、「石川県長期構想」の策定当時から大きく変化しており、社会のデジタル化やカーボンニュートラルの推進といった新たな時代の潮流に的確に対応しながら、新たな活力を創出し、石川県のさらに飛躍させていくことが必要となっております。

こうしたことから、これまで築きあげてきた石川の個性・魅力・基盤を継承し、さらに発展させることに加え、石川県の目指す姿から逆算し、石川県の進むべき方向性を示す新たな羅針盤として、「石川県成長戦略」を策定します。

2 戦略の位置づけ

「石川県成長戦略」は、石川県政運営の基本となるもので、県の施策の方向性を総合的かつ体系的にまとめた、石川県の最上位計画です。

なお、本戦略は、まち・ひと・しごと創生法（平成26年法律第136号）に基づく「都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略」としての性格を併せ持ち、SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の達成に寄与するものとして策定しております。

3 計画の期間

令和5（2023）年度から令和14（2032）年度までの10年間とし、策定から5年後を目途に中間評価を行い、必要に応じて見直します。

1 基本目標

幸福度日本一に向けた石川の未来の創造 ～住みやすく、働きやすい、活力あふれる石川県の実現～

近年、人口減少・超高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症の影響や激甚化・頻発化する自然災害など社会経済情勢等の変化に加え、デジタル技術の急速な進展、カーボンニュートラルの推進など、社会全体に大きな影響を与える新たな時代の潮流が生まれています。

こうした時代の潮流に的確に対応するには、既存のルールやシステムに捉われず、デジタルの活用や脱炭素社会を念頭においた新たな社会像の構築が求められています。

石川県がこれまで磨き上げてきた個性・魅力・基盤を継承、発展させていくとともに、時代の変化を捉えながら、石川県の目指す姿に向けて、新たな発想で果敢に挑戦していくことで、石川の新時代を切り拓いていきます。

具体的には、まず、県民の生命や健康を守るセーフティネットである医療や健康・福祉への取組や防災・減災対策の充実により、安全・安心を確保するとともに、豊かな石川の自然を守り、「住みやすい石川県」を実現します。

また、新たな時代を捉えながら、産業全体の振興を図るとともに、多様な価値観が尊重され、誰もが活躍できる社会づくりに取り組み、「働きやすい石川県」へと飛躍・成長を目指します。

さらに、石川県が藩政期以来培ってきた文化などの個性・魅力を磨き上げながら国内外へと発信するとともに、誘客や移住・定住を促進し、「活力あふれる石川県」を実現することが、県民の幸福度の向上につながるものと考えております。

全ての県民が、夢と希望を胸に、未来に向かってチャレンジでき、誰一人取り残されることなく、一人一人が真の幸せを実感しながら、健やかに安心して暮らすことのできる「幸福度日本一の石川県」を目指します。

2 3つの目指す姿

幸福度日本一の石川県に向け、具体的には「住みやすい石川県」「働きやすい石川県」「活力あふれる石川県」の3つを目指す姿とし、県政運営により実現してまいります。

住みやすい石川県

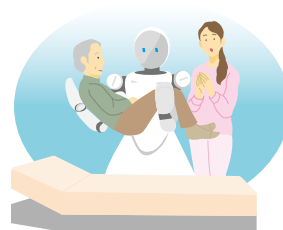
医療・健康・福祉

医療従事者の確保や地域偏在の解消などにより、全ての県民へ必要な医療を提供するとともに、介護人材の確保や県民の健康づくりの推進など、県民が生涯を通じて健康で、生きがいをもって暮らせる社会を目指します。



子育て

結婚から出産、子育てまで、ライフステージに応じた支援を実施し、全ての家庭が、良質な環境で安心して子どもを産み育てることができる社会を目指します。



防災・減災

ハード・ソフト両面から防災・減災対策を充実させ、激甚化・頻発化する自然災害にも負けない強靱な石川県をつくり、誰もが安全に暮らせる社会を目指します。



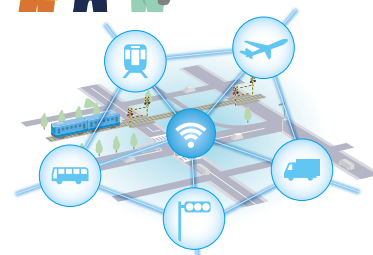
インフラ基盤、交通安全・防犯

県民生活の土台であるインフラ基盤を将来にわたり持続・整備するとともに、関係機関・団体、住民などと連携・協働した行政や警察の対応力強化等により、交通事故や犯罪の発生を抑え、県民が安心して快適に暮らせる社会を目指します。



環境

カーボンニュートラルの実現に向け、あらゆる主体が取組を実践するとともに、循環型社会の形成や石川の豊かな自然と人との共生を図り、未来へとつなげる持続可能な社会を目指します。



インクルーシブ社会

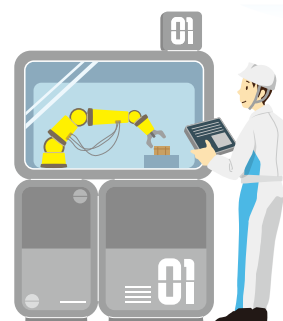
全ての県民が性別や年齢、国籍、障害の有無など、一人一人の多様性を認め合い、互いの人権を尊重するよう、県民理解の促進や、環境づくりを推進し、誰もが心豊かに安心して活躍できる社会づくりを目指します。



働きやすい石川県

産業

スタートアップの創出・育成や伴走支援の強化、産学官金の連携などにより、新たな時代を捉えながら成長し、全国や世界を舞台に活躍する企業を産み出すとともに、働きやすさ、暮らしやすさの基盤となる中小企業等の着実な成長を促すなど、産業全体の発展を目指します。



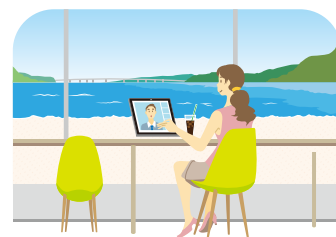
農林水産業

担い手の確保・育成、スマート農林水産業などによる生産構造の強化やブランド化等の高付加価値化に取り組み、農林水産業の従事者の収益力の向上を目指すとともに、里山里海の保全・活用など、次世代につなぐ農山漁村づくりを目指します。



誰もが活躍できる社会

デジタルを活用した時間や場所に捉われない柔軟な働き方などを踏まえた、魅力ある雇用の場の創出や、高等教育機関と連携した人材の育成・確保などを進め、国内外を問わず人材の活用を促進するとともに、あらゆる分野において、性別や年齢、国籍、障害の有無などに捉われず、誰もがそれぞれの希望に応じて活躍することができる社会の実現を目指します。



活力あふれる石川県

文化

藩政期以来培われてきた石川県の個性と厚みのある文化を継承しながら、さらなる高みを目指してこれらを磨き上げるとともに、様々な好機を捉えた国内外への発信や、文化に親しむ環境づくりなどにより、個性と魅力にあふれる石川県を目指します。



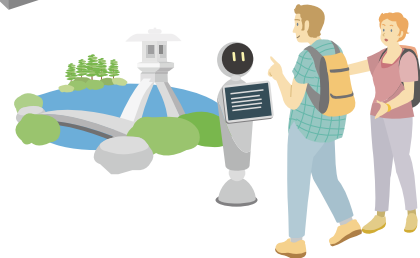
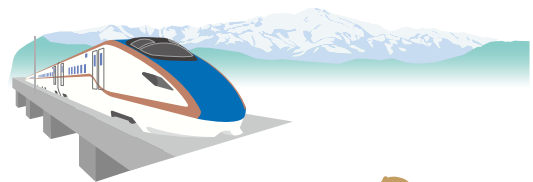
スポーツ

全国や世界で活躍できるアスリートの発掘・育成・強化など競技スポーツの振興や、パラスポーツの振興、若年者から高齢者まで全ての県民へのスポーツ活動の裾野拡大に向けた取組の推進などにより、スポーツを通じた石川県の活力の創造を推進します。



観光

多様化するニーズに対応し、「文化観光」の推進やターゲットに応じた戦略的な誘客の推進など、国内外から選ばれ続ける観光地としてブランド力強化に取り組み、交流盛んな地域づくりを目指します。



地域振興

一人一人のニーズに寄り添ったきめ細かな支援や、テレワークなど多様な暮らし方、働き方の志向を捉えた取組による移住・定住の促進、地域づくり活動リーダーの育成、外部人材との協働などにより、多様な人々が交流し活躍できるような、活力あふれる地域づくりを目指します。



人づくり

ふるさと石川に誇りと愛着を持ちながら、世界・地域に貢献する人材の育成や、ICTの活用、実社会で必要とされる資質・能力の育成などに取り組むとともに、信頼される質の高い学校づくりを進め、石川の未来を切り拓く人づくりを目指します。



1 2つの視点

石川県がさらなる飛躍を遂げ、幸福度日本一を実現するためには、

- ・あらゆる分野において、DX（デジタル・トランスフォーメーション）やGX（グリーン・トランスフォーメーション）などの新たな時代の潮流を捉えて、積極果敢に挑戦していくことで、石川県の個性・魅力・基盤をさらなる高みへと押し上げ、石川の新たな価値を創造し続けていくことが重要であり、
- ・そのために、土台となる県民の安全・安心が守られ、健やかに暮らせる社会をつくり上げていく必要があることから、

2つの視点を設けます。

視点1 石川の新たな価値の創造

視点2 県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

2 2つの視点に基づく戦略の体系

2つの視点に基づき、県政の諸課題に果敢に取り組むための6つの戦略と、新たな時代の潮流を的確に捉え、飛躍するための2つの横断的な戦略を設けます。

〈視点〉

〈6つの戦略〉

視点1

石川の新たな価値の創造

戦略

1

新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり

戦略

2

収益力の高い農林水産業と次世代につなぐ農山漁村づくり

戦略

3

個性と魅力にあふれる交流盛んな地域づくり

戦略

4

石川の未来を切り拓く人づくり

戦略

5

温もりのある社会づくり

視点2

県民が健やかに安心して暮らせる社会の構築

戦略

6

安全・安心かつ持続可能な地域づくり

〈2つの横断的戦略〉

横断的戦略

1

デジタル活用の推進

横断的戦略

2

カーボンニュートラルの推進

< 38の施策 >

- 1 産業のDX推進
- 2 産業のGX推進
- 3 産業を支える人材の確保・育成
- 4 新事業・新産業の創出
- 5 国内外への販路拡大・魅力発信
- 6 中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化
- 7 企業等の戦略的誘致

- 1 農業生産構造の強化
- 2 持続可能な農業・畜産の体制づくり
- 3 農林水産物のブランド化の推進や里山里海地域の振興
- 4 県産材の生産・利用拡大による林業の発展と木材産業の体制強化
- 5 持続性のある水産業の実現

- 1 個性と厚みのある文化の創造と発展
- 2 スポーツを通じた活力の創造
- 3 選ばれ続ける観光地としてのブランド力の強化
- 4 交流人口の拡大に資する陸・海・空の交流基盤のさらなる充実
- 5 地域活力の向上に向けた移住・定住の促進
- 6 個性豊かな地域づくり
- 7 世界に開かれた国際交流の推進

- 1 次世代を担う人材の育成
- 2 地域の知の拠点たる高等教育機関と連携した「学都石川」の発展
- 3 人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備

- 1 安心して子どもを産み育てることができる環境の充実
- 2 生涯健康で安心して暮らせる社会づくり
- 3 全ての県民への必要な医療の提供
- 4 誰もが心豊かに安心して暮らせる多様性を認め合う社会づくり
- 5 男女が共に活躍できる社会の実現

- 1 災害に負けない強靱な県土づくり
- 2 安心して快適に暮らせる地域づくり
- 3 持続可能な循環型社会づくり
- 4 自然と人とが共生できる社会づくり

- 1 デジタル活用の基盤整備
- 2 社会全体のDX推進

- 1 幅広い産業分野におけるGX推進
- 2 エネルギー構造の転換への対応
- 3 住宅や民間施設などのゼロエネルギー化の促進
- 4 環境配慮型自動車の普及やモーダルシフトの促進
- 5 カーボンニュートラルの実現に向けた県民意識の醸成

1 主要目標及びK P Iによる進捗管理・評価

戦略及び戦略に連なる施策の進捗管理のため、戦略ごとに主要目標を、施策ごとにK P I（Key Performance Indicator：重要達成度指標）を、それぞれ設定します。

主要目標及びK P Iの達成状況について、毎年、P D C Aサイクルにより効果の検証・改善を行うことで、客観的に、石川県の目指す姿（住みやすい、働きやすい、活力あふれる）の実現に向けた成長戦略の進捗状況を管理・評価し、本戦略を不断に見直してまいります。

成長戦略に掲げる施策を着実に推進し、主要目標及びK P Iの目標達成により、県民の幸福度の最大化を目指します。

<主要目標・K P Iの設定>

- ※主要目標は、K P Iによる個々の施策ごとの進捗管理に加え、8つの戦略について、個々の施策の進捗の結果として、戦略全体が適切に進捗しているかを把握するために設定するもの
- ※原則として、定量的な目標とする
- ※基準値は、原則、最新値を使用しつつ、新型コロナウイルス感染症の影響や年ごとのばらつきが大きいものなど、最新値が適さない場合には、個別に見直しを行っている
- ※目標年度は、本戦略の最終年度である令和14年度とすることを基本としつつ、引用元の個別計画や調査頻度等を踏まえて、異なる年度を設定する場合がある

2 オール石川での推進体制

県民をはじめ企業や国、市町、大学などの関係機関等と連携・協働しながら、オール石川の体制で施策の推進にあたります。これにより、分野を横断した施策の実効性を高めるとともに、個別の施策を相互に連携させることで、相乗効果を高め、効果の最大化、業務の効率化を図ります。

特に、住民と最も身近な自治体である市町と連携・協働しながら施策を推進することは大切であり、人口減少や少子高齢化など、個々の自治体単独では対応が困難な課題に対して、県と市町が共に取組を進めていくことで、石川県全体の活性化につなげます。

3 地域ごとの魅力の発信と地域間連携の促進

南北に細長い石川県は三方を海に囲まれ、南には「白山手取川ユネスコ世界ジオパーク」を中心とした肥沃な加賀平野が広がり、北には世界農業遺産「能登の里山里海」を有する能登半島が位置するなど、豊かな自然環境を有しています。こうした自然環境に加え、加賀百万石の武家文化や北前船の交易などを背景とした独自の多彩な文化が培われ、根付いています。

幸福度日本一の石川県を実現するためには、こうした地域ごとの強みを磨き上げ、それぞれの特性を活かした施策を推進することはもとより、それぞれの地域が連携・交流する、または相互に補完し合うことにより、相乗効果を発揮することが重要です。

さらには、近隣県を含む地域間の広域的な連携を促進することにより、施策や取組の効果を最大化し、石川県全体のさらなる魅力の向上と発信につなげます。

4 効率的・効果的な行財政運営

社会資本の更新投資や維持管理費、社会保障費の増大などにより、財政負担の増大が想定される中、施策全般にわたり事業内容を精査し、事業の選択と集中を図るとともに、中長期的な展望で持続可能な財政運営に取り組めます。

また、デジタル化の取組等による業務改革や働き方改革の一層の推進、主要目標及びKPIによる進捗管理などにより、質の高い行政サービスを提供できる組織体制を構築し、効率的かつ効果的に戦略を推進します。